赤川先生の想い出

M⑫　大西　彰

赤川先生には、蒸気工学や熱力学の講義と気液二相流研究等で、厳しくも心暖かいご指導を賜りました。その折りに、問題解決に際して自分でその方法を考える習慣を徹底的にたたきこまれました。そして社会人となった後、その習慣が大いに役立ちました。

学生時代山登りに一生懸命であった私には、ソフトボールの試合や仲間と行ったキャンプ等の楽しかった想い出に比べ、講義や卒業研究について、紹介できる記憶が少ないのが残念です。そんな私にとって、個人的なことになりますが、次の 2 つの想い出があります。

社会人となった 3 年目、私に与えられた任務は、その建設を担当した特殊ボイラーの運転とメンテナンスを行うために必要な特級ボイラー技士の免許を取得することでした。

大阪で開催された資格取得のための講習会に参加した時、その講師が赤川先生であり驚きました。受講後先生に挨拶すると、「学生時代、私の講義をちゃんと聞いていたら、今回の講習内容は 100％理解でき、6 講座所属の君なら問題なく合格できるはずである」と言われました。劣等生に対する先生の心暖かい励ましのお言葉として、いつまでも私の心に残っています。大いに発奮して 2 回目の受験でやっと合格できました。この時に勉強した内容も又その後の仕事に大いに役立ちました。

学生時代、6 講座の仲間をご自宅にお招き頂き、暖かい家庭の雰囲気を与えて下さる機会がありました。その時、聡明でかわいらしいお嬢さんと一緒に楽しいひと時を過ごすことができました。そのお名前が由美子さんでした。以来私に女の子ができたら、是非由美子と命名しお嬢さんのような聡明でかわいらしい子供に育つことを願っていました。現在、私の長女由美子は 2 人の子供の母となっています。

先日の「偲ぶ会」で奥様にご挨拶した時、このことを話しお礼を申し上げました。

坂口先生の追悼文で、ご長女由美子様が 40 歳余りの若さでご逝去されたことを知り、驚きと悲しみの気持ちでいっぱいです。ご冥福を心よりお祈り致します。

赤川先生、本当に有難うございました。

（ 終 ）